

日本経済政策学会

関東部会幹事 西川雅史(青山学院大学)

日本経済政策学会関東部会では、以下の研究会を開催いたします。

今年度のテーマは、「しあわせ(happiness あるいは well-being)」とさせていただきます。

お二人の気鋭の先生方に講演をお引き受け頂くことができ、会員諸氏にとって有益な最新の情報あるいは研究成果をご披瀝頂けるものと存じます。みなさま奮ってご参加下さいますようお願い申し上げます。

12月26日(水) 13時～ 青山学院大学 17号館 307教室

<第1報告>

(1) 講師:松浦司先生(中央大学経済学部准教授)

(2) タイトル:出産意欲と出産行動:日韓パネルデータを用いた検証

(3) 内容:本分析では、日韓のパネルデータを用いて、日韓の合計出生率の差が希望子ども数の差によるのか、希望子ども数が実際の子ども数に調整される速度に差があるのかを検証する。

(4) 松浦先生の代表的業績(ウェブサイトなどより):

・松浦司編著、『高齢社会の労働市場分析』(中央大学経済研究所研究叢書 58), 中央大学出版部, 2014年。

<第2報告>

1. 講師:影山純二先生(明海大学経済学部教授)

2. タイトル:価値観と出生行動

(3) 内容:世界価値観調査では、幸福度や生活満足度に加え、家族、友人、余暇、政治、仕事、宗教という6項目に対しそれらが人生の中でどれくらい重要か尋ねている。そこで本研究では、幸福度や生活満足度と出生行動の研究内容を整理した上で、先に挙げた6項目の重要度が理想子ども数や実際の子ども数とどう関係しているか分析する。

(4) 影山先生の代表的業績(ウェブサイトなどより):

•The financial burden of having children and fertility differentials across development and life stages:

Evidence from satisfaction data, with Tsukasa Matsuura, *Journal of Happiness Studies* (2016).